

宇原川流域を保全する土砂災害対策について

須坂建設事務所

砂防事業の効果事例

宇原川流域では、**死者10名、重軽傷者20名、家屋の全壊・流出10戸の大災害**をもたらした昭和56年8月の台風15号の災害直後から、**砂防堰堤4基**を集中的に整備。その結果、令和元年東日本台風では、昭和56年台風の**1.4倍の降雨**を記録したが、人的被害は発生せず、被害を未然に防止。



S56.8 瀬の脇地区の状況

守られた人家や公共施設

住宅	75戸
公会堂	2戸
事業所	9事業所
国道	1.5 km
橋梁	5橋
市道	2.7 km

日雨量の比較 (菅平観測所)



被害軽減効果



整備された砂防堰堤



金山第2堰堤(昭和60年2月竣工)

同水系で現在も進めている砂防事業



仙仁堰堤(除石施工中)



(砂)前山沢 八町の砂防堰堤(施工中)
R2年度の完了を目指す



(砂)福沢 仁礼の砂防堰堤(施工中)
令和元年東日本台風の際、上流からの土砂を補足し下流への被害を防いだ